



新つるおか

二〇二六年元旦

日本共産党鶴岡地区委員会
日本共産党鶴岡市議団



党鶴岡市議団長

菅井 巖

昨年10月の市議選で
党市議団全員の再選を
果たすことができました。

身近な暮らし、地域
の願いを市政に届け、
4人の党市議団で掲げ
た公約実現に、今年も
引き続き頑張ります。

山形県議会議員

関 徹

昨年は、中小企業等
賃上げ支援、県営住宅
改修・改善、戦争体験
継承施設整備等を前に
進め、排外主義反対・
多文化共生社会、クマ
問題の専門職配置、農
業経営守り米価も安定
させる施策、医療・介

護従事者支援等を提
起。
▽今年は午年、馬は行
動力や情熱の象徴。1
年3ヶ月後の県議選
と、来るべき衆院総選
挙勝利に向けて、1月
からダッシュします。
ご一緒に前進の年に
しましょう！

前衆議院議員

高橋ちづ子

昨年は大雪から猛
暑、地震など、災難続
きでした。

高市総理は総理の地
位と引き換えに維新と
政権合意、定数削減や
社会保障削減を約束。
物価高騰対策は遅すぎ
て少なすぎます。

今こそ消費税減税で
す。

日中関係を緊張さ

に、私的に特定候補へ
の投票呼びかけを含む
文言を送信したという
ものです。

12月2日に市の審査
委員会が開かれ、調査
報告書が4日、公表さ
れました。

「職員の分限及び処分
審査委員会」は、佐藤
光治監査委員と石塚治
己農業委員会会長、成
澤和則教育長の3人の
委員による臨時審査委
員会を組織。委員長は、
互選で佐藤光治監査委
員を選任。

法的な解釈は、顧問
弁護士による見解を踏
まえたとし、審査結果
は、「幹部職員2名は、

せ、アメリカいいなり
に大軍拡を進めていま
す。悔しさをバネにし
て、必ず次は議席を取
り戻す決意です。

参議院議員

いわぶち友

くらしと平和を守り
たい、一人ひとりが大
切にされる社会を、み
なさんと力を合わせて
希望を切り開く年にで
きるよう奮闘する決意
です。

東日本大震災津波と
東京電力福島第一原発
事故から15年。復興を
進め、原発ゼロを実現
させる一年にしていき
ましょう。

高橋ちづ子さんと一
緒に強く大きな党をつ
くるために全力を尽く
します。

何れの法令等にも抵触
することはなく、告発
又は懲戒処分は行えな
いと考えられ、処分不
問とした。」としまし
た。

全員協議会で質疑

議会では、菅井巖議
員と中沢深雪議員、田
中宏議員、草島進一議
員の4人が17日、この
問題で「議員全員協議
会」の開催を要求し、
18日に協議会が開催さ
れました。

協議会では、

「審査は第三者委員会
でするべき」

(2面につづく)



日本共産党市議団 後列左から(3番)長谷川剛議員、(4番)坂本昌栄議員、(5番)菅井 巖議員、前列右が(2番)加藤鉦一議員

市幹部の投票呼びかけ「違法でない」

12月市議会閉会 市長選問題についての質疑に市長が答弁

鶴岡市議会12月定例会は19日閉会しました。
市長選・市議会議員選挙後、初の定例会では、
新人議員12人のうち11人が自公会派に加わり、
医療・介護の請願と、意見書案は全て不採択、
否決となりました。

副市長選任の人事案では、異例の3人が反対
討論。賛成17人、反対8人、退席2人で、市会
計管理者の伊藤敦氏が同意されました。

10月の市長選挙で、

「市職員の選挙運動関
与を疑う」皆川治・前
市長からの市長事務引
継がありました。

疑いは、市幹部職員
がLINE(ライン)
で、市職員を含む知人

2025年12月議会 賛否が分かれた議案 (○賛成 ●反対 退:退席)

会派	無	共産党				市民と歩む会			希望のつどい			公明党			創政クラブ													
	草島進一	加藤鉦一	長谷川剛	坂本昌栄	菅井巖	石井清則	田中宏	五十嵐一明	佐藤麻里	中沢深雪	阿部寛	今野祥子	黒井浩之	大野誠一	三原大輔	竹内秀一	北山武徳	伊藤麻衣子	鈴木聡	渡部智也	清野康子	岡崎克己	金内理	佐藤久樹	佐藤昌哉	尾形昌彦	本間新兵衛	五十嵐一彦
鶴岡市副市長の選任	●	●	●	●	●	●	●	●	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める意見書提出に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、全てのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引上げを求める意見書の提出に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
保険薬局も無料低額診療事業の対象とすることを求める意見書の提出に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
〇ＴＣ類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を行わないことを求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

(1面のつづき)

「公務員が制限されている選挙運動に当たるところではないか」、「LINEで拡散された先も調査したのか」などが質疑されました。

佐藤聡市長は、「慎重に検討した結果であり、法令に違反する行為ではなかった」と述べました。

限定的調査で結論

調査報告書では、

幹部職員Aは、特定候補の演説会などスケジュールを添付して、LINEを送信したことは、年休をとって「勤務時間外」であった。

公職選挙法第136条の2は、「地位を利用」して選挙運動をすることを禁じているが、判例・行政実例によれば、職務権限の行使や上下関係の濫用が認められる場合に限り、私的交友への個人的なLINE送信が、直ちに「地位利用」に該当しない。

私人間で限定的に発せられ、組織的・権限

的な働きかけとは認められない。

地方公務員法第36条第2項「政治的行為の制限」には、政治的目的を持った政治的行為、「勧誘運動」とは言い難く、抵触する行為ではないといえる。

鶴岡市職員の懲戒処分基準要綱に規定する非違行為の、「政治的目的を有する文書の配布」に該当するとは言えない。等と記載されました。

今回の報告書は、限定的な内部調査だけであり、広範囲な調査には及んでいない中で結論を出したことについては、今後に問題を残します。

議会における人事案は、慣例で質疑、討論なく採決されてきました。

しかし、「報告書との関係性が否定できない中で疑念が残る。今後、市民への説明責任が問われてくる。考え直すべきである」と菅井巖議員団長が反対討論を行い、党市議団4人は反対しました。

医療・介護の請願・意見書 自公が反対

市民の請願では、「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める意見書提出に関する請願」(社会保障制度を良くする鶴岡・田川の会会長 高橋憲志)に、加藤鉦一議員が賛成討論を行いました。

「安全・安心の医療・介護提供体制を守るた

め、全てのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引上げを求める意見書の提出に関する請願」(山形県医療労働組合連合会 執行委員長 鶴巻学)に、菅井巖議員が賛成討論を行いました。

「保険薬局も無料低額診療事業の対象とすることを求める意見書の提出に関する請願」(山形県民主医療機関連合会会長 茂木紹良)に、坂本昌栄議員が賛成討論を行いました。

3件とも賛成少数で不採択となりました。「農業構造転換集中対策に関する意見書の提出を求める請願」(鶴岡市農業協同組合代表理事組合長 保科互外3名)は、全会一致で採択されました。

議員発議の意見書案では、

「OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書(案)」は、坂本昌栄議員が提出。加藤鉦一議員が賛成討論。

「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を行わないことを求める意見書(案)」は、草島進一議員が提出。菅井巖議員が賛成討論。

結果は表のとおり。

議会最終日に追加された一般会計補正予算は、生活応援商品券事業や市職員給与改定に伴う人件費の増額など14億1846万8千円を追加し、総額を839億221万6千円としました。

山添 拓

参議院議員
党政策委員長

きたる!

新春のつどい

きたるべき総選挙、
庄内町議選(6月)、
県議選(27年4月)、
有権者と対話重ね、
みんなの手で勝利つかもう

第1部 新年のごあいさつ 国会報告

第2部 懇親会、参加者・議員との懇談
抽選会など計画中

と き 1月18日(日) 午後1時30分~4時

ところ 鶴岡市勤労者会館 大ホール

会 費 1,000円

『参加券』は地区委員会または後援会員からお求め下さい

※駐車場が狭いので、お車の方は出来るだけ相乗りをお願いします。

共 催 日本共産党鶴岡地区委員会、鶴岡・田川地区日本共産党後援会 連絡先 0235-22-3313